

平成26年度電気技術者資質向上事業の実施結果

平成27年3月23日

「電気技術者資質向上事業」は、関係機関が実施を計画する電気技術者の資質向上を目的とする事業(以下、「資質向上事業」という。)を支援すること等により、当事業の着実な実施、さらなる普及・拡大等を通じて、電気技術者の資質の向上を図り、もって我が国の電気保安の確保に寄与することを目的に実施

平成26年度の事業実施結果は、次のとおり

1. 経過

平成26年3月24日(月)～10月31日(金)の間、当試験センターホームページで提案を募集したところ次の8件の提案があった。

・平成26年5月15日(木)

「平成26年度第1回電気技術者資質向上アドバイザー委員会」を開催
次の1件の採択が適当とされた。

- ①「第14回高校生ものづくりコンテスト北海道大会電気工事部門開催事業」
(北海道工業高等学校長会)

・平成26年6月26日(木)

「平成26年度第2回電気技術者資質向上アドバイザー委員会」を開催
次の5件の採択が適当とされた。

- ①「高校生ものづくりコンテスト2014東北大会【山形大会】電気工事部門開催事業」
(東北地区工業高等学校長会)
- ②「第14回高校生ものづくりコンテスト近畿大会電気系部門(電気工事部門)開催事業」
(近畿地区電気教育研究会)
- ③「平成26年度第13回関東甲信越地区電気教育研究会電気工事コンテスト兼
第14回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門 関東予選会開催事業」
(関東甲信越地区電気教育研究会)
- ④「第1回電気工事技能競技全国大会開催事業」 (全日本電気工事業工業組合連合会)
- ⑤「第48回 全九州技能競技大会開催事業」 (一般社団法人 全九州電気工事業協会)

・平成26年8月27日(水)

「平成26年度第3回電気技術者資質向上アドバイザー委員会」を開催
次の1件の採択が適当とされた。

- ①「第21回配電工事安全技能競技会」 (北陸電気工事組合連合会)

・平成26年10月24日（金）

電気技術者資質向上アドバイザー委員より書面による決議を行い次の1件の採択が適当とされた。

- ①「第15回高校生ものづくりコンテスト北海道大会電気工事部門開催準備事業」
（北海道工業高等学校長会）

2. 支援対象事業の実施結果

8事業については、次のとおり実施された。

- ①「第14回高校生ものづくりコンテスト北海道大会電気工事部門開催事業」
（北海道工業高等学校長会）
平成26年6月6日（金）に実施 表1参照
- ②「高校生ものづくりコンテスト2014東北大会【山形大会】電気工事部門開催事業」
（東北地区工業高等学校長会）
平成26年7月31日（木）に実施 表2参照
- ③「第14回高校生ものづくりコンテスト近畿大会電気系部門（電気工事部門）開催事業」
（近畿地区電気教育研究会）
平成26年8月12日（火）に実施 表3参照
- ④「平成26年度第13回関東甲信越地区電気教育研究会電気工事コンテスト兼
第14回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門 関東予選会開催事業」
（関東甲信越地区電気教育研究会）
平成26年8月31日（日）に実施 表4参照
- ⑤「第48回 全九州技能競技大会開催事業」 （一般社団法人 全九州電気工事業協会）
平成26年10月25日（日）に実施 表5参照
- ⑥「第21回配電工事安全技能競技会」 （北陸電気工事組合連合会）
平成26年11月13日（木）に実施 表6参照
- ⑦「第1回電気工事技能競技全国大会開催事業」 （全日本電気工事業工業組合連合会）
平成26年11月29日（日）に実施 表7参照

- ⑧「第15回高校生ものづくりコンテスト北海道大会電気工事部門開催準備事業」
(北海道工業高等学校長会)
平成26年12月1日～平成27年2月28日の間で実施 表8参照

3. その他

平成27年度電気技術者資質向上事業募集要項は、別途、当試験センターのホームページに掲載します。

表 1

項 目	内 容
支援事業名	第14回高校生ものづくりコンテスト北海道大会電気工事部門開催事業
目 的	全道の各工業高等学校で取り組んでいる電気工事分野でのものづくりの学習効果の発表の場として、全道の工業高校生が技術・技能を競い合う北海道大会を企画・開催し、選抜された代表者を「高校生ものづくりコンテスト全国大会」並びに「若年者ものづくり競技大会」へ派遣すること等を通じて、産業・電気安全を支える技術・技能水準の向上、若年技術・技能者の育成を図る。
実施期間	平成26年6月6日(金)
開催場所	北海道室蘭工業高校 電気製図室
主 催	主催:北海道工業高等学校長会、北海道高等学校工業クラブ連盟
後 援	北海道教育委員会、北海道産業教育振興会、 北海道の工業教育を推進する会、一般財団法人 電気技術者試験センター
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・第14回高校生ものづくりコンテスト全国大会の課題に準じて設定。 ・1名作業 ・競技時間:150分 ・「競技規則」、「競技課題」に基づき「施工図」、「施工条件」に示す配線工事を行う。 ・結果 最優秀賞:函館工業高等学校 北瀬孝太郎 優秀賞:富良野緑峰高等学校 佐々木隼
参加者数	<ul style="list-style-type: none"> ・競技参加者:全道の工業高校9校の代表 9名 ・引率者:9名、事務局7名 ・審査員3名
支援の内容	開催経費のうち、材料費等の一部185千円を支援した。
その他	北海道工業高等学校長会・北海道高等学校工業クラブ連盟ホームページに掲載

表 1

第 1 4 回高校生ものづくりコンテスト北海道大会電気工事部門開催事業

(北海道工業高等学校長会)

実施日：平成 2 6 年 6 月 6 日 (金)



表 2

項 目	内 容
支援事業名	高校生ものづくりコンテスト2014東北大会【山形大会】電気工事部門開催事業
目 的	東北地区内の工業高校生の電気工事に関する技術・技能の向上と相互交流を図る。
実施期間	平成26年7月31日(木)
開催場所	独立行政法人 高齢・障害・求職者支援機構 山形職業訓練支援センター
主 催	主催:東北地区工業高等学校長会
後 援	後援: 山形県教育委員会 、 山形県産業教育振興会 山形県高等学校教育研究会工業部会 一般社団法人日本電気協会東北支部 独立行政法人 高齢・障害・求職者支援機構 山形職業訓練支援センター 一般財団法人 電気技術者試験センター
実施内容	・第14回高校生ものづくりコンテスト全国大会の課題に準じて設定。 ・1名作業 ・競技時間:150分 ・「競技規則」、「競技課題」に基づき「施工図」、「施工条件」に示す配線工事を行う。 ・結果 第1位:青森県立十和田工業高等学校 佐藤 大輝 第2位:秋田県立男鹿工業高等学校 土橋慎太郎 第3位:山形県立山形工業高等学校 鈴木 将也
参加者数	・競技参加者:東北各県の工業高等学校電気系学科の代表 7名 ・引率者:7名、事務局16名 ・審査員5名
支援の内容	開催経費のうち、材料費等の一部185千円を支援した。
その他	

表 2

高校生ものづくりコンテスト2014東北大会【山形大会】電気工事部門開催事業

(東北地区工業高等学校長会)

実施日：平成26年7月31日(木)



表 3

項 目	内 容
支援事業名	第14回高校生ものづくりコンテスト近畿大会電気系部門(電気工事部門)開催事業
目 的	近畿大会は全国大会の予選であり、大会を通して工業高等学校生徒の「ものづくり」に対する意識を高め、電気・電子の技術・技能の向上を図るとともに、今後の電気・電子教育の資質向上を目指す。
実施期間	平成26年8月12日(火)
開催場所	株式会社きんでん きんでん学園
主 催	主催：近畿地区電気教育研究会
後 援	後援：近畿工業高等学校長協会 大阪市教育委員会 一般財団法人 電気技術者試験センター
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・第14回高校生ものづくりコンテスト全国大会の課題に準じて設定。 ・1名作業 ・競技時間：150分 ・「競技規則」、「競技課題」に基づき「施工図」、「施工条件」に示す配線工事を行う。 ・結果 優勝：兵庫県立龍野北高等学校 浦崎翔太 準優勝：大阪府立堺工科高等学校 岩見圭高 第3位：大阪府立堺工科高等学校 平松 廉
参加者数	<ul style="list-style-type: none"> ・競技参加者：近畿地区の工業高等学校の各府県代表 8名 ・引率者・事務局：約40名 ・審査員10名
支援の内容	開催経費のうち、材料費等の一部148千円を支援した。
その他	兵庫県高等学校教育研究会工業部会ホームページに掲載

表 3

第 14 回高校生ものづくりコンテスト近畿大会電気系部門（電気工事部門）開催事業

（近畿地区電気教育研究会）

実施日：平成 26 年 8 月 12 日（火）



表 4

項 目	内 容
支援事業名	平成26年度第13回関東甲信越地区電気教育研究会電気工事コンテスト兼 第14回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門 関東予選会
目 的	電気系学科の生徒を対象に、電気工事コンテストを行うことにより電気工事の基礎応用の技術向上を図るとともに、電気技術者の育成を図る。
実施期間	平成26年8月31日(日)
開催場所	前橋産業技術専門校
主 催	主催: 関東甲信越地区電気教育研究会
後 援	後援: 関東地区工業高等学校長会 群馬県教育委員会 群馬県電気工事工業組合 一般社団法人 東京電業協会 一般財団法人 電気技術者試験センター
実施内容	・1名作業 ・競技時間: 120分 ・「競技規則」、「競技課題」に基づき「施工図」、「施工条件」に示す配線工事を行う。 ・結果 優勝: 茨城県立波崎高等学校 向後 剛 準優勝: 茨城県立玉造工業高等学校 永作 健人 第3位: 栃木県立宇都宮工業高等学校 石川 竜也
参加者数	・競技参加者: 関東甲信越地区の工業高等学校電気科の生徒 16名 ・引率者・大会関係者: 80名 ・審判員: 8名
支援の内容	開催経費のうち、材料費等の一部111千円を支援した。
その他	

表 4

平成 26 年度第 13 回関東甲信越地区電気教育研究会電気工事コンテスト兼
第 14 回高校生ものづくりコンテスト全国大会 電気工事部門 関東予選会

(関東甲信越地区電気教育研究会)

実施日：平成 26 年 8 月 31 日 (日)



表 5

項 目	内 容
支援事業名	第48回 全九州技能競技大会
目 的	電気工事技術者の技能習得意欲を増進し、技術水準の向上を図るとともに、電気工事業の発展を期するため技能競技大会を実施
実施期間	平成26年10月25日(土)
開催場所	沖縄職業訓練支援センター(ポリテクセンター沖縄)
主催	・主催:一般社団法人 全九州電気工事業協会
後援	・後援:経済産業省 九州産業保安監督部、那覇産業保安監督事務所
協賛	<ul style="list-style-type: none"> ・協賛:九州電力(株)、沖縄電力(株)、一般財団法人九州電気保安協会 一般財団法人沖縄電気保安協会、東芝ライテック(株) 東芝電材マーケティング(株)、全日本電気工事業工業組合連合会 (株)白十字安全、一般財団法人 電気技術者試験センター
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・1名作業 ・競技時間:150分 ・屋内配線工事の基本的な技能を活用し、定められた課題(課題配線図等)に基づいて安全で正確な施工を行う ・結果 ・最優秀賞:濱川優希(沖縄県)、小坂浩道(沖縄県) ・優秀賞:又木英雄(鹿児島県)、増永明浩(福岡県) ・入賞:中村圭輔(佐賀県)、徳永忠臣(長崎県)、榊野奨太(大分県)、茨木真弥(福岡県)、石沢優亨(鹿児島県)、江藤淳一(宮崎県)
参加者数	<ul style="list-style-type: none"> ・競技参加者:18名 ・審査員:3名 ・事務局、来賓、その他:129名
支援の内容	開催経費のうち、会場設営費一部等1,227千円を支援
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・経済産業省九州産業保安監督部のホームページに掲載 ・沖縄県電気工事業工業組合のホームページに掲載

表 5

第 4 8 回 全九州技能競技大会

(一般社団法人 全九州電気工事業協会)

実施日：平成 2 6 年 1 0 月 2 5 日 (土)



表 6

項 目	内 容
支援事業名	第21回配電工事安全技能競技会
目 的	配電工事安全技能教育の一環として、工事技能、安全作業の習得向上を図ることを目的とする。
実施期間	平成26年11月13日(木)
開催場所	北陸電力株式会社研修センター
主 催	主催:北陸電気工事組合連合会
後 援	なし
協 賛	一般財団法人 電気技術者試験センター
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・外線工事と引込線工事について各県1チーム(石川、富山、福井、1チーム3名)による技能競技会。 ・外線工事:間接活線作業による変圧器増設工事 ・引込線工事:引込線無停電張替工事(直接引込・並行架線工法) <ul style="list-style-type: none"> ・結果 【外線工事】 最優秀賞:赤尾電設株式会社 優秀賞:旭電設株式会社、 努力賞:野沢電気工事株式会社 【引込線工事】 最優秀賞:有限会社平専電工 優秀賞:株式会社福山電設 努力賞:林電気株式会社
参加者数	<ul style="list-style-type: none"> ・競技参加者:各県(石川、富山、福井)から選抜された外線工事1チーム(各チーム3名)計9名と引込線工事1チーム(各チーム3名)計9名 合計18名 ・審査員 13名 ・研修者 170名 ・大会関係者 31名 ・来賓、その他 45名
支援の内容	開催経費のうち、会場設備費の一部等586千円を支援
その他	

表 6

第 2 1 回配電工事安全技能競技会

(北陸電気工事組合連合会)

実施日：平成 2 6 年 1 1 月 1 3 日 (木)



表 7

項 目	内 容
支援事業名	第1回電気工事技能競技全国大会
目 的	全日本電気工事業工業組合連合会に所属する電気工事技術者の資質並びに技術水準の向上を通じお客様満足と安全・安心に電気をお届けするための電気保安の確保を担う電気工事業界の発展に寄与する。
実施期間	平成26年11月29日(土)
開催場所	両国国技館
主催等	・主催:全日本電気工事業工業組合連合会 ・主管:全日本電気工事業工業組合連合会 技能競技委員会 ・共催:各ブロック電気工事組合連合会、各都道府県電気工事(業)工業組合
後援	・後援:経済産業省、国土交通省、文部科学省
協賛	・協賛:電気事業連合会、一般社団法人日本電気協会、電気保安協会全国連絡会 一般財団法人 電気工事技術講習センター 全日本電設資材卸業協同組合連合会 全国設備業IT推進会、一般財団法人 電気技術者試験センター 他、25企業
実施内容	・1名で競技を行う a.技能競技:180分 屋内配線工事の基本的な技能に、技術進歩や新製品の導入状況等を加味した課題。 課題は事前に公表するが、当日、使用材料及び機器構成・機能を変更しない範囲で概ね2割以内の課題変更を行うこともある。 b.学科競技 30分 第二種電気工事士試験相当の実務問題(5問)及び与えられた4課題のうちから1問を選択し文書穴埋め択一方式 ・結果 経済産業大臣賞:泉谷 祐真(島根県) 金 賞:泉谷 祐真(島根県) 銀 賞:細江 敏史(岐阜県)、相原 誠(東京都) 銅 賞:内藤 功一(島根県)、駒澤 知三(北海道)、宮田 豊(福井県) 敢 闘 賞:佐藤 光(山形県)、小谷 忠司(大阪府)、北川 大樹(長野県) 特 別 賞:木下 貴博(埼玉県)
参加者数	・大会当日:約1690名 選手 30名 審査員 5名、競技委員・審査補助委員等31名 来賓 87名、協賛企業他128名、各組合関係者 1,409名
支援の内容	開催経費のうち、会場設営費の一部等2,000千円を支援
その他	全日本電気工事業工業組合連合会のホームページに掲載

表 7

第 1 回電気工事技能競技全国大会

(全日本電気工事業工業組合連合会)

実施日：平成 26 年 11 月 29 日 (土)

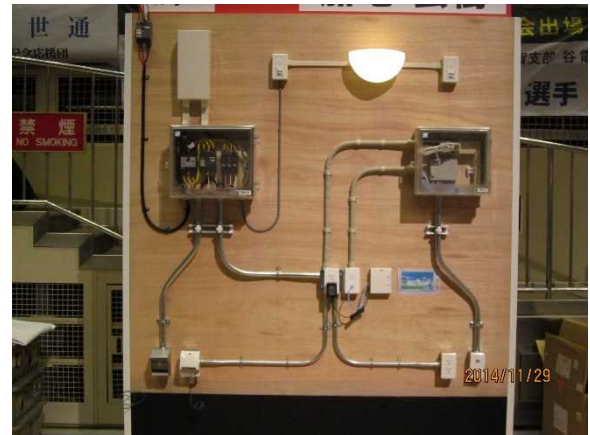


表 8

項 目	内 容
支援事業名	第15回高校生ものづくりコンテスト北海道大会電気工事部門開催準備事業
目 的	全道の各工業高等学校で取り組んでいる電気工事分野でのものづくりの学習効果の発表の場として、全道の工業高校生が技術・技能を競い合う北海道大会の開催に必要な準備事業
実施期間	平成26年12月1日～平成27年2月28日
開催場所	北海道小樽工業高等学校 電気実習室
主催	北海道工業高等学校長会
後援	
協賛	一般財団法人 電気技術者試験センター
実施内容	<p>【競技内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1名作業 ・競技時間:150分 ・屋内配線工事の基本的な技能を活用し、定められた課題(課題配線図等)に基づいて安全で正確な施工を行う。 <p>【開催準備事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業パネルを板金工場に製作を発注し納入した。
参加者数	<ul style="list-style-type: none"> ・大会当日 約30名 選手 10名 審判員等関係者 15名 その他6名 ・延参加者数:参加校 10校 電気科生徒 2,000名 ・今回は、板金業者4名で組立作業を行った。
支援の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・開催準備の実績に基づき、開催経費のうち材料等の一部323千円を支援した。
その他	